

自分らしい
“明日”を描こう

色とりどりに輝く大田区の仕事人

お仕事レポート

Vol.

6



株式会社JALエンジニアリング
運航整備部国内発着整備室

ながいわ みゆき
長岩 美幸さん
Miyuki Nagaiwa

Profile

平成16年入社。エンブラエル社製旅客機の一等航空整備士資格を有し、主に運航整備部門にてライン確認主任者として発着整備を担当。現在、同社における航空整備士約3,000人のうち女性は110人(3.6%)。

航空機が普通に到着してまた飛んで行く、 そんな当たり前前の「日常」を支えたい。

業務について教えてください。

羽田空港で、国内航空機の運航整備の確認主任者業務を担っています。お客さまが降機されてから搭乗されるまでの間に、乗員から機体の状態を確認し、不具合があれば整備し、燃料補給や機内清掃等の管理を行います。そして、確認主任者として、航空機に問題がないか判断しています。

確認主任者になるには、航空機の種類ごとに国家資格のライン確認主任者資格を取得する必要がありますが、私はエンブラエル社製旅客機の資格をそれぞれ有しています。とてもかわいい飛行機ですよ。

航空整備士を目指されたきっかけを教えてください。

子どもの頃から機械いじりが

好きで、おもちゃを分解したり、組み立てたりしていました。父

が電気関係の仕事をしていて、工具箱が自宅にあるという環境が影響したのかもしれませんが、機械に携わる仕事に憧れていて、航空専門学校へ見学に行った際、航空整備士という仕事を知りました。正に自分がやりたかった仕事と感じ、航空整備士を目指そうと思いました。

女性が少ない業種ですが、気をつけていることは？

入社当時と比べると女性整備士の数も増え、更衣室や休憩室といった就労環境も格段に整ってきました。出産後に復帰する人もおり、現場へ戻る人もいれば事務職へ移る人もいます。働き方の選択肢があることは、心強いことです。

整備の仕事において、男女間の体力差は存在します。無理を

せず、頼ることも必要だと思います。同時に、「無理です」「できません」だけでは、互いの信頼関係が築けません。同僚に対しての感謝の気持ち、尊敬の気持ちを忘れず、業務に当たることが大切だと思っています。現在の部署では、女性の最年長は私です。業務の責任を果たすためにも、自己管理をしっかりとし、自分の経験を生かしつつ、人が働きやすい環境をつくっていくお手伝いをしていきたいです。また今後は、就航が見込まれるMRJ(三菱リージョナルジェット)の資格も取りたいと思っています。

普通「飛んで」「帰ってくる」毎日のために。



普通「飛んで」「帰ってくる」毎日のために。